



(左)主宰する木曾さん。「学生が力を発揮できればきっともっと良い未来が待っている」と期待する。
(上)試飲会で来場者にコーヒーの淹れ方を説明する山本さん。

SOCIAL 学生のためのシェアスペースを開設
「コミュニティ再生のきっかけに」

6月、JR茨木駅前のショッピングセンター「茨木ショッパタウン」2階に学生のためのシェアスペース「芝生研究所」がオープンした。学生が自由に入出入りでき、無料で利用できる。開設したのは、同市で音楽イベントなどを企画運営する「KoToサウンド合同会社」の代表、木曾稔之さん。「コロナの影響で、希薄になった人と人とのつながりをもう一度結びなおしたい」と話す。

木曾さんはコロナ禍以降イベントが開催できない状況が続くなか「まずは町を元気に」と、市内にキャンパスのある立命館大学の学生や事業者と協力して町の活性化に取り組んできた。この場所を作ったきっかけは「友達と気軽に話せる場所がない」という学生からの相談だった。昨年から続くオンライン授業、サークル活動の制限などにより、「友達ができない」「サークルの維持が難しい」といった問題が起きていることを知った。

そこで「学生が自由に活動できる場所を」と、地元不動産会社の協力のもとス

ペースを開設。学生のやりたいことを聞き出し、イベントの開催をサポートするなど、活動しやすい仕組みを作った。木曾さんは「学生が目を輝かせながら自分のやりたいことを伝えてくれる瞬間がうれしい」という。同大の「珈琲研究会RCS」の代表で、将来はカフェを開業したいという山本惣大さん(経営学部4回生)は、コーヒーの試飲会を実施。自ら焙煎した豆でおいしいコーヒーの淹れ方を実演、来場者に提供した。山本さんは「しばけん(芝生研究所)は、自分のしたいことを広げられる場所」と話す。

7月にはここへ通う学生らで地元ボランティア団体が主催する安威川上流の溪谷「竜仙峡」の清掃活動に参加。徐々に同スペースに関わる学生が増え、地域に興味をもつようになってきたという。

「人が集まれる場所が無くなったことで、その場所に紐づいたコミュニティ自体が無くなったと感じる」という木曾さん。「この場所がコミュニティ再生のきっかけになれば」と話している。

コラム
COLUMN
**梅花から「令和」を込めて
旧街道と国宝**

高槻市・茨木市・箕面市を貫く国道として、171号線があります。その近くに西国街道と呼ばれる道があることをご存じでしょうか。場所によっては、江戸情緒を感じさせる建物に出会うことのできる旧街道です。『万葉集』が編まれた時代には、山陽道と呼ばれていました。

地図を開いて、奈良市から山を越えないように、大阪へ入ることを考えてみてください。山麓を石清水八幡宮まで北上すると、淀川にあたります。枚方市から高槻市に、川を渡るところの薦が有名だったようで、三島を詠む万葉歌を紹介したことがあります。第26代継体天皇陵とされる今城塚古墳、太田茶臼山古墳を右手に見ながら歩くことができます。ずいぶん北へ遠回りをしていますね。地図では、わかりやすい171号線の方を辿ると、池田市から西宮市の国道2号線へ出ていくことができます。その先が神戸市。物を運ぶ陸路は、奈良から険しい峠を越えることを避けて、急がば回れをしていたようです。都が京都に遷っても、北摂地域を通る道に変わりはありませんでした。今日でも物流の拠点の担って、発展している様子を確かめることができると思います。

さて、交通の利便性が良くなると人が集まります。奈良時代に藤原仲麻呂のもとで活躍した石川年足という高級官人がいました。

墓誌が高槻市で発見され、国宝に認定されています。『万葉集』は、天平勝宝四年(752)に催された新嘗会の肆宴で、孝謙天皇の詔に代えた生前の歌を、次のように残しています。

天にはも五百つ綱延ぶ
万代に国知らさむと五百つ綱延ぶ
天尔波母 五百都綱波布
万代尔 国所知牟等 百都々奈波布
(巻19-4274番歌)

新嘗会のために建てられた大宮の装飾を神話のように、「天にはたくさんの綱がはりめぐらされています。古から今に続くように(それは未来までも)国が栄え続けるように(願いを込めて)、たくさんの綱がはりめぐらされています」と言祝いでいます。

年足の墓誌が発見されたのは文政3年(1820)のこと。遺されたものが、私たちにいろいろなことを教えてくれます。

TEXT
梅花女子大学教授 市瀬 雅之
現代訳から原文までを用いて『万葉集』に文学を楽しむほか、『古事記』や『日本書紀』等に日本神話や説話、古代史をわかりやすく読み解く。中央大学大学院修了 博士(文学)。
著書に『大伴家持論 文学と氏族伝説』『おうふう1997年、『万葉集編纂論』『おうふう 2007年、『北大阪に眠る古代天皇と貴族たち 記紀万葉の歴史と文学』梅花学園生涯学習センター公開講座ブックレット 2010年。ほか執筆・講演・講座多数

SELECT
1955年 神戸市生まれ。1980年「青」に入会。波多野爽波に師事。2000年「ゆう」入会。田中裕明に師事。編集担当。2010年俳誌「秋草」を創刊し主宰する。毎月発行。句集に『書信』『讀本』『木簡』がある。2018年句集『木簡』で読売文学賞受賞。日本文藝家協会会員。
選者 山口 昭男
やまくち あきお

【俳句の応募方法】
氏名・住所・年齢・明記のうえ、ハガキ、封書、FAX、下記の応募フォームのいずれかからご応募ください。
【宛先】
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘1-13-23
株式会社シティライフNEW 俳句係まで
FAX 06-6368-3505
【応募フォーム】
<https://pro.form-mailer.jp/fms/f413b102177160>
※締め切りは毎月25日必着 ※いずれも一人5句まで
※掲載は次々号となります
※佳作は掲載をもって発表とさせていただきます。
※お名前と作品を掲載します。

「つばやき評」
じつと自然や人間を眺めていれば、はっとすることが起こります。それをすかさず五七五の十七音の俳句にしてゆく。この「はっとする」というところに詩情が生まれ出て来る。そのとき言葉は新鮮な姿を現してくれま

「佳作」
山々の緑劣らぬ青田かな
遠吠の犬と語らん夏の床
掬はれて金魚家族となりけり
山深く追ひ込まれたり翳雲
夏休み博物館に団子虫

吹田市 川内 幸子	吹田市 田村由紀子	吹田市 秋山 寛	豊中市 安藤 知明	西宮市 宮部志津枝
-----------	-----------	----------	-----------	-----------

俳句
/ HAIKU
7月25日締切りでご投句いただいた中から、山口昭男先生に入選作品を選んでいただきました。

「優秀賞」
子雀や顔の裏まで見せて啼く
茨木市 山崎登代子

「入選」
遠目にも母は元氣や夏帽子
茨木市 河本 要
夏帽子のお母さん。遠くからでもその元氣さが伝わります。嬉しいことです。
楸邸忌擦り寄る猫を抱き上げて
豊中市 上杉千代子
俳人加藤楸邸の忌日は七月三日。楸邸の猫の子の句を思い出します。
存へて短夜のなほ長きかな
西宮市 宮部志津枝
このような境地に憧れを感じます。上五に万感の思いがこもっています。
オルガンのけだるき音や虎耳草
茨木市 廣田 静子
「虎耳草」はきじんそう、ゆきのしたと読みます。取り合わせがよいです。
雨はわれひとり降るや心太
吹田市 堀田恵美子
「心太」はとろてんと読みます。ぼつんと感じた雨が契機の心太でしょう。

FM COCOLO × CITYLIFE / 音楽のCOCOLO Vol.27 FM COCOLOの人気DJが季節やテーマに合わせた音楽を紹介。 radiko なら、パソコン・スマートフォンでFM COCOLOが無料でクリアに聴ける! FM COCOLO WHOLE EARTH STATION

タイが誇るアーティストの
元気づけられる一枚
ALBUM
アーサー・サヌック
(Asa Sanook)
ARTIST
トンチャイ・メーカーンタイ

タイのスーパースター、バードこと、トンチャイ・メーカーンタイ。62歳を迎えた2020年12月、インスタグラムを開設。近々新アルバムでも、との言葉にファンたちは期待を膨らませています。30年以上に渡って活躍してきたトンチャイは、これまでミリオンセラーを7度記録し、コンサート開催の度にチケットが完売するほどの人気です。そんなトンチャイのミリオンセラーアルバムの中で、私が好きなのは、16番目のもの「アーサー・サヌック」。2010年12月発売とかなり古いアルバムではあるが、所属プロダクションのグラミー社の中では2010~2017年の間、最も売り上げが高かったものです。ことに、3曲目の「トゥ・マッチ、ソー・マッチ、ベリー・マッチ」は、とても軽快なダンス・ミュージックで、発売当初、大人から子どもまで携帯の着信音に使用され話題になりました。久々にその曲を聞くとバンコクの街中であちらこちらから聞こえていた日々を思い出します。今、コロナ禍と闘っている母国のタイ。「アーサー・サヌック」のアルバムを引っ張り出して聞いていると、私も頑張ろうという気持ちになります。35年以上に渡り高い人気を保つトンチャイはやはりタイが誇るべくアーティストだ!

SELECT DJ
松尾 カニタ
KANITA MATSUO
4月13日生まれ B型。タイ・バンコク出身。タイのタマサート大政治学部4年のときに「東南アジア青年の船」に参加し、「日本で学びたい」との思いを強め1980年に来日。1986年、慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。1995年10月「FM COCOLO」の開局時からDJを務め、タイの情報を伝えている。担当番組はタイ語のプログラム「FROM OVERSEAS -THAILAND-」(水)AM5:00-6:00